

令和元年度特許情報普及活動功労者表彰

一般財団法人日本特許情報機構理事長賞 【特許情報人材育成功労者】

株式会社IHI 技術開発本部 技師長
金澤 祐孝

功績

石川島播磨重工業株式会社（現 株式会社 IHI）に入社後、レーザー関係の研究・開発、事業化に従事し、2004年に知的財産部に異動され、当初は出願を担当後、2008年に調査グループのグループ長として特許情報調査を担当されました。

それまでは、IHIでは調査はほぼ外注だったため、2008年当時、特許情報調査ができる人が社内にはほぼ皆無という状況から業務を立ち上げ、社内における特許情報の普及／人材育成を推進しながら特許情報調査業務を開始し、その後の運用安定に貢献しました。

社外活動については、2009年度からATIS（技術情報サービス協会）調査分科会において、調査スキル、人材マネジメント等の調査・研究を行い、2012～2013年度は分科会リーダを歴任されました。

2010年度からの特許検索競技大会の委員会時代には、それまでの特許情報調査の知識や人材育成の経験も踏まえ、機械ワーキンググループリーダー、副委員長、委員長を歴任されました。（現在も委員長継続中）その間に、スチューデントコースが開始され、さらに、サテライトによる学校単位での参加も開始する等、検索競技大会が大きく変わっていく中で、金澤氏はその中核を担い、特許情報調査人材の育成や普及啓発に大きく貢献してこられました。

IHIで技師長をつとめる現在も、社内の研究開発の現場に積極的に関わって特許情報調査のアドバイスを行うとともに知財部の若手調査担当者の指導やサポートにあたる等の業務を行う傍ら、検索競技大会の委員長を務め、また、2019年、2020年（予定）と、その特許情報調査の経験と知識を活かし、JIPA研修「特許情報と特許調査」の講師を務めるなど、特許情報業界の人材育成に多大な貢献をされています。

この度は、特許情報活用研究功労者賞を賜り、身に余る光栄に存じます。このような賞がいただけたのも、特許検索競技大会委員会やATIS分科会でご一緒させていただいた皆様との出会いがあったからであり、心から感謝申し上げます。また、このような業界活動に快く送り出していたいただいたIHIの諸先輩、同僚の方々にも御礼申し上げます。

特許情報の世界でもAIなどの新しい技術の適用により、検索業務の効率化、自動化が進むと思いますが、調査の目的を決めるのは人間であり、サーチャーの重要性は変わらないと思います。今後もそのようなサーチャー人材の育成に貢献できれば幸いです。

